

## 令和4年度 第4回 北区自治協議会 議事概要

**日 時** 令和4年7月28日(木)午後1時30分から

**会 場** 北地区コミュニティセンター 大ホール

### 出席者 委員

神田(征)委員、神田(恭)委員、諏訪委員、五十嵐委員、阿部委員、前田委員、山賀委員、清水(博)委員、有田委員、樺山委員、斉藤委員、佐藤委員、清水(文)委員、鶴巻委員、寺山委員、藤原委員、本間(啓)委員、渡邊委員、本田委員、伊藤委員、佐久間委員、皆川(靖)委員

計 22 人

(欠席：小日向委員、本間(藤)委員、平松委員、皆川(英)委員、横山(喜)委員、横山(由)委員、遠藤委員、中嶋委員)

### 事務局

#### [北区役所関係]

区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署長、北下水道分室長、北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員4人

計 17 人

**傍聴者** 3人

### 内 容

#### 1 開会

#### 2 報告事項

##### (1) 令和5年度特色ある区づくり予算事業について(委員提案分)

神田会長

最初に、区づくり予算事業の委員提案分について、資料1のとおり、二つのアイデアをいただきました。提案をいただいた委員から、説明をお願いします。

鶴巻委員

私は運動普及推進員として地域のお茶の間に参加しています。そこで感じたことを、記載いたしました。老人会やお茶の間の新会員不足で、地域のコミュニケーション不足を解消したい。地域によっては年代問わず交流がされているので、きっかけ等を聞きたいということです。提案としては、私は地域づくり部会で、今年度も防災にかかわることをやりました。それに対して、ごみ拾いやごみの量を計測したりして、地域の人たちと楽しみながら接触する機会があったらいいと思い、提案しました。

#### 神田会長

ありがとうございました。続いて、2番目は私から説明をさせていただきます。

北区は旧新潟市と豊栄市が合併して北区という形になりました。10年以上経ちますが、一体感にまだほど遠い。私だけかもしれませんがそんな感じがします。ぜひ北区が一体となった何かアイディアがほしい。それによって交流が深まればいいということでの提案です。この全体会の中で協議をするとなかなか意見も出にくいかと思い、ぜひ各部会で検討していただければありがたい、ということでの提案です。

鶴巻委員と私の提案について、皆さんからご質問等がありますか。なければ、これからの流れについて、事務局から説明をお願いします。

#### 副区長

このあとの流れについて、特に資料は用意していませんが、今後の区づくり予算事業のスケジュールについて説明いたします。皆さまから提案いただいた2件のアイディアを、区役所担当課に伝え、参考にしながら、またこれまで継続してきた事業内容も踏まえて事業案を作成します。委員の皆さまには、11月の自治協議会で令和5年度の区役所企画事業の提案状況をお示ししたいと考えています。最終的には、12月の自治協議会において、区づくり事業予算案の全体の意見聴取をお願いする予定です。

## (2) 区自治協議会会長会議の報告について

#### 神田会長

次に移ります。(2) 区自治協議会会長会議の報告について。私から報告します。7月1日に市役所で、令和4年度第1回目の全区の自治協議会会長会議が行われました。

資料1、次期総合計画素案について説明がありました。資料5ページの、市民・地域と進める住民自治の中で、区自治協議会の今後の方針について示してあります。「区自治協議会が、より地域課題に取り組みやすくするためには、住民ニーズの把握方法や解決に向けた検

討方法に工夫を重ね協働の仕組みに磨きをかけます」とあります。これから先の8年後を見据えた中で、行政との連携を深めながら、地域課題解決に向けてより効果的な方法を考えていかなければなりません。そこで資料3、区自治協議会の運営について感じることにあるように、区自治協議会の役割を踏まえ、日ごろの活動や運営を通して感じている話題などを話されました。その中で出てきたご意見が三つありました。

まず、最初に、自治協議会の認知度が低いという話が出ました。自治協議会は皆さんに周知されていない。分からない人が多い。住民と行政が一体となってまちづくりをするために意識づけをしていかなければならない、一緒にまちづくりをやるためには自治協議会の役割をもっと明確にするべき、会長だけではなく自治協議会委員全体から意見を聴くべき、などが出てきました。市民協働課から後日、全委員宛に区自治協議会の課題についてのアンケート調査を行いたいという話がありました。それが、今日お配りした用紙です。

そして、戻りまして議題(2)、令和4年度全体委員研修について。研修のやり方について意見を求められました。三つの案が示されましたが、今の委員の皆さんは来年の3月31日をもって終わりなので、この時期に研修会をやっても意味がないという話をしました。内容は、市民協働課で今回の意見を踏まえ内容を検討することになりました。以上です。

### **(3) 区ビジョンまちづくり計画策定特別部会の報告について**

#### **神田会長**

報告3、区ビジョンまちづくり計画策定特別部会の報告について、事務局から説明をお願いします。

#### **副区長**

第1回特別部会は6月に行われました。現状・課題シートに記載したもののほかに、委員の皆さまが考える課題について、それぞれの部会でご発言をいただきました。1時間という限られた時間で、たくさんのご意見をいただき誠にありがとうございました。いただいたご意見は、報告資料3の意見一覧にあります。

第1部会の自然の魅力輝くまち部会では、自然環境活動について、歴史文化も魅力ある北区なので、魅力を伝える人材の育成は必要、来々となるような工夫は必要。全体として、意外に北区の自然について知られていないのではないかといった意見がありました。

第2部会、未来へ続く活力あるまち部会の意見等については、観光の整備やハードの整備、また公共交通の交通に関する意見をいただきました。

第3部会、いきいきと心豊かに暮らせるまち部会では、健康について若い頃から健康に気

をつけ、健診を受けるように意識付けをしていくことが大切である。続いて、地域福祉について本人がそうした状況におかれていることが当然と誤ってしまっているといった意見をいただきました。

第4部会。安心安全で住みよいまち部会では、防犯、交通安全について、交通安全や防犯活動の人手が不足している。防災について若い男性の顔が見えず、いざというときに助け合えるのが不安であるなどの意見をいただきました。その他記載してあるご自身の発言について、訂正が必要な箇所などがありましたら、事務局にお知らせください。これらの意見を各担当課に伝えて、計画の策定の参考にさせていただきたいと考えています。

次の特別部会は、来月8月に開催の予定です。また皆さまからのご協力をお願いいたします。8月の部会の内容については、現状、課題を踏まえて今後どのように取り組むべきか、もう少し広げて、ご意見をいただきたいと思います。次回もよろしく申し上げます。

なお、資料にはありませんが、説明と報告をさせていただきます。皆さまからこのようにまちづくり計画の現状課題についてご意見をいただく中で、すでに作成した、皆さまからもご了承いただいた区ビジョン基本方針との関連に関するご意見も若干いただきました。基本方針の大きな変更ではなくて、分かりやすくするための、てにをは程度のもので若干変更させていただくこともありますので、ご了承ください。

#### **(4) 部会の会議概要について**

##### **神田会長**

次に移りたいと思います。

次第の報告事項(4)部会の会議概要について、各部長から報告をお願いします。

##### **鶴巻委員**

地域づくり部会です。

提案事業について昨年同様、子育て世代に向けての防災に触れるきっかけを提供します。今年度は、地域団体との協力で行う予定にしています。10月1日に行われるイベントのブースとして出展する予定です。次に、10月16日に濁川コミュニティ協議会と共催で「まなぼうさい」、11月に木崎地区で同じく「まなぼうさい」ということで、北消防署の協力もいただいで、地域の方たちと防災事業を行う予定です。また、中学生にも協力をお願いし、広く若い世代の人たちからも入ってもらう計画を立てています。

##### **清水(博)委員**

福祉教育部会です。今年度の提案事業について、話し合いを行いました。講師は、北区社会福祉協議会の涌井さんに内諾をいただきました。

それから、ボランティア場所の候補は、四つあります。葛塚小学校、松浜小学校、早通児童センター、はまなす会。講座名は、「応援します、あなたの一步」となりました。あと、役割分担は記載のとおりです。日程は、10月5日に第1回目、10月26日に第3回目を開催することになりました。第2回目は、体験場所と相談をし、決定します。

## 伊藤委員

自然文化部会です。令和4年度自治協議会の提案事業についてです。講演会等とフォトコンテストのテーマ、タイトルを検討しました。より多くの人にPRできることから遠藤麻理さんを講師に招き、講演会的なものを開催することに決定しました。その後事務局と私、伊藤が依頼に伺い了解を得ました。内容等は今後決定していきます。

フォトコンテストについて、テーマは「北区のすべてのジャンル」、タイトルは「北区のベストショット!!”ここ”が大好き/北区のまるごとゼーンブ撮って!」と決定しました。内容は本日検討いたします。部会の委員研修は、いただいた意見をもとに事務局が案を作ることとしました。

## 神田会長

今の報告に皆さんからご質問等がありましたらお願いします。なければ次に移ります。

## 3 その他

### 健康福祉課長

すでにご案内のとおり、コロナウイルスは急拡大が続いています。昨日の感染者数は市全体で921名、うち北区68名。そして第7波は、第6波と違い、10代未満、30代の感染だけではなく高齢者にも感染が広がり、ほぼ全年齢層で連日感染が確認されています。

そこで、皆さまに改めてお願いです。まずは、基本的な感染対策の実施です。手洗い、手指消毒、三密回避の徹底と併せて、熱中症予防のために、屋外で周りに人がいない場合には適宜マスクを外していただく。屋外での運動や通勤、通学、マスクは付け外しをしながら、水分補給をお願いします。そして発熱や喉の痛み、倦怠感があつた場合には飲み会やイベントの参加を控えてください。併せて、出勤や登園、登校もできるだけ控えてください。本人だけではなく家族が濃厚接触者、もしくは体調不良の場合にもできるだけ控えてください。そして、感染の不安がある方は、無料検査所で検査を受けることができます。詳細は日々変

わっていますので県のホームページをご確認ください。

また、本日も実施しておりますが、冷房を入れても窓を開けてこまめな換気をお願いします。そして、早めのワクチン接種。ワクチン接種は重症化予防の効果があるとされています。4回目接種は、3回目から5か月経過すると接種可能ですので、その時期に合わせて、60歳以上の方には青い封筒で接種券をお届けしています。基礎疾患をお持ちの18歳以上の方は市で把握できないため、全市民を対象にハガキでご案内しています。ご自身で接種券を請求してください。ワクチン接種を、できるだけ早く受けていただくようにご近所やご家族にもお声掛けをいただけたらと思います。

## 事務局

研修会のご案内です。資料の「北区自治協議会委員研修会の開催について」をご覧ください。北区自治協議会では、1年に1回委員の研修会を開催しています。今年度は、新しくできた新潟市文書館の視察を行います。お忙しいとは存じますが、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

続きまして、佐久間委員から先に行われた、新潟市総合計画審議会についての報告をしていただきます。では、佐久間委員をお願いします。

## 佐久間委員

新潟市総合計画審議会第1回目の全体会と2回の部会に参加しました。内容が文化・スポーツや、まちづくりなどで部会が分かれています。私は第3部会の子育て・教育、健康・福祉の分野に所属しています。

1回目の審議は、健康・福祉の分野でした。市の素案に対して、こういう内容を盛り込んだほうがいいのではないかなどと、活発な意見交換がされていました。「自分らしく生き生きと安心して暮らせる地域共生社会の実現」という政策で一番盛り上り意見が出ました。生涯にわたって健康であるとか自分らしく生き生きと安心して暮らせるためには、いかに若い頃から地域の中で関係性を築けることが大切なのではという意見には、まさにそうだなと思いい地域の大切さを感じました。

私が出した意見としては、LGBTなど性的マイノリティのところ、新潟市が先行してパートナーシップ宣誓制度を導入しているにもかかわらず、その項目が全然なかったので、「いろいろな家庭の形を見つめ、尊重することが計画の中で分かるようにする」といいのでは」という意見を出しました。

あと、驚いたことに、新潟市は政令指定都市の中で自殺率が高く、政令指定都市20都市

中第6位の自殺死亡率です。施策の中でそういう悩みを抱える人の心のケアというものがありました。そこをもう少し具体化というか。周りを気にして過度に悩むことのないよう、自分らしさを大切にするという視点を盛り込めるとよいのではと伝えました。以上です。

#### **神田会長**

佐久間委員、ありがとうございました。皆さんから何かご質問やご意見等はおありでしょうか。なければ、予定をしていた議題はこれで終わりですので、マイクを事務局にお返しします。